

からたち



第50号
新春
2022.1

- p.2 新年のご挨拶
- p.3 部署紹介（A病棟）
- p.4 ～おせち料理について～
- p.5 翠の会（糖尿病患者会）：フットケア開催
- p.6 病院からのお知らせ 出張健康講座再開のお知らせ
- p.7 病院からのお知らせ
2022年1月より、循環器内科外来の担当医が変更になります。
2022年1月より、土曜日診療変更のお知らせ



「山鹿灯籠浪漫」（撮影地 山鹿市） 撮影者／地域医療連携室 看護師 北嶋 尚子

一般財団法人 医療・介護・教育研究財団
柳川病院

地域から親しまれ、信頼される病院を目指します

- 患者さんに良質で安心な医療を提供します
- 医学・医療技術の研鑽に努め、最新の医療を提供します
- 地域福祉の向上と、疾病予防策を実践します
- 風通しの良い、明るく働きがいのある健全な職場を目指します

新年のご挨拶 2022

理事長
馬場崎 紀文



明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より柳川病院の運営に際しましては、地域の皆様、各大学及び医師会をはじめとする医療機関また行政機関の皆様には多大なるご支援を賜り心より御礼申し上げます。

昨年も、一昨年に発生した新型コロナウイルス感染症との闘いに終始した一年でした。一旦は収束に向かうかとも思われましたが、4波、5波と爆発的な感染拡大をうけ、対応病床も逼迫し、福岡県においても3度の緊急事態宣言が発出されるなど医療業界も非常に困難な状況となりま

した。

私たちの行動様式も一変し、大切な家族との外出も自粛し3密を避け、仕事においてもテレワークの推進など、感染予防対策としてのソーシャルディスタンスが当たり前前の生活が定着しました。そのような状況であればあるほど、人と人とのつながりの重要性、以前 WHO はソーシャルという言葉でフィジカルへと言い換えましたが、感染拡大を避けるための物理的距離は保ちつつも社会的なつながりは大切であるという事を強く実感しております。

今年は、3回目のワクチンや治療薬の開発により新しい展開が期待されますが、まだまだ本格的な収束は不透明な状況です。そういった中、柳川病院においては『地域に親しまれ信頼される病院を目指します』という基本理念を体現し地域医療に貢献すべく、医療安全や感染対策を職員一人一人が一層徹底し、県や市との連携を強化しながら、地域に根ざした急性期医療を堅持し発展させていくことが使命と考えております。

今後も、地域の関係機関の皆様には引続きのご指導、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、一日も早いコロナの終息と皆様のご健康を祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

院長
於保 和彦



新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたりご挨拶申し上げます。

2021 年を振り返りますと、一昨年同様新型コロナウイルスに翻弄された1年となりました。COVID-19 は変異を続け、デルタ株に置き換わり、年末からは世界中でより感染力が強いオミクロン株が猛威を振るっています。

一方で 2021 年はスポーツの年でもありました。1年延期され開催された東京五輪でしたが、日本選手団は史上最多の 58 個のメダルを獲得し、大きく躍進しました。またパラリンピックでは選手たちの障がい乗り越えるひたむきな姿に健常者以上に心打たれました。またメジャーリーグでは大谷翔平選手が投打の二刀流で史上最高といわれる活躍により満票で MVP を獲得し、ゴルフの松山英

樹選手がメジャー大会、それもマスターズで優勝するなど、日本の若きアスリートたちがコロナで疲弊した国民を大いに励ましてくれました。

さて柳川病院では 2021 年 10 月から産婦人科部長として大田俊一郎先生が着任しました。前職は国立病院機構鹿児島医療センター産婦人科部長です。経験豊富な先生ですので、地域医療に大いに貢献してくれると期待しています。

2022 年も COVID-19 との戦いが続きます。柳川市では年明け早々に第3回目のワクチン接種が始まります。この記事を書いている時点で、我が国でもオミクロン株の市中感染が散発的に発生し始めており、年末年始の旅行や帰省などで感染拡大は避けられないと予想されます。これまで通りマスクを着用し、手洗いを励行し、3密を避け、ワクチンという“盾”と近く承認されるウイルスの増殖を抑える経口薬という“矛”によりこの厳しい状況を必ずや克服できると信じております。2022 年はその記念すべき年として記憶される事になるでしょう。

本年も柳川病院は“地域の皆様に親しまれ、信頼される病院”を目指し、職員一同努力してまいりますので何卒宜しくお願い申し上げます。

最後になりますが、2022 年が皆様にとりまして幸多き1年となりますよう心からお祈り申し上げます。



YANAGAWA HOSPITAL

部署紹介

A 病棟



A 病棟は、消化器内科・消化器外科の混合病棟で、内視鏡検査・治療、手術の患者さんが多く入院されています。検査や治療、手術の術前から術後まで患者さんが安心して過ごしていただけるように、個々に合わせた寄り添う看護を心がけています。

急性期病棟で、入退院が早く目まぐるしい病棟ですが、医師や多職種、認定看護師、専門士と連携し安全・安楽な看護ケアの提供を行っています。

今年度は、新たに2名の看護師が入職しました。共に学び、共に成長することを大切にしながら質の高い看護実践ができるよう頑張っています。



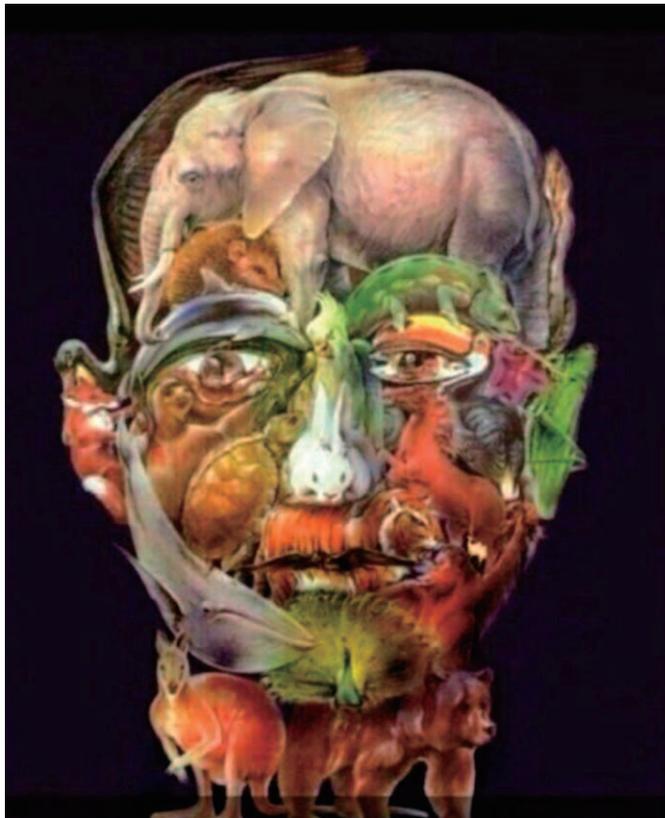
看護師 A

「初めての転職で戸惑いや辛さなどもありましたが、周りのスタッフさんのおかげで1年を乗り越えることができました。不慣れな部分もありますが、柳川病院の看護師の一員として今後も頑張っていきます。」



看護師 B

「自分は、母親から言われた『大変な時は大きく変わる時』という言葉に胸にこの一年頑張りました。まだ、未熟な部分ばかりですが、これからも頑張っていきたいです。」



糖尿病療養指導士 看護師 S

食事がおいしい季節になりましたが、糖尿病は日頃の管理が大切です。今まで通りの管理を心掛け、何かありましたら細かい事でもよいので病院受診し相談されてください。



～頭の体操～

この画像の中からラクダを見つけることができると、認知症にはならないと言われていたようです。

イラストの中に「ラクダ」があるので探してみましょう。

答えは 07 ページにあります。

～おせち料理について～



新年あけましておめでとうございます。

寒さが厳しい季節となりましたが、新年いかがお過ごしでしょうか？

お正月はその年の新しい歳神様を家族そろってお迎えし、新年のお祝いをする大切な行事とされています。

年中行事を祝う家庭が少なくなってきましたが、年の始まりを祝うお正月は、特別行事として日本中で行われます。

新年のお祝いの席に欠かせないおせち料理。いろいろな意味が込められていますが・・・皆さん、その由来をご存じですか？そこで、今回はおせち料理についてお話したいと思います。

おせち料理の歴史

おせち料理は五穀豊穡や無病息災、子孫繁栄などの願いが込められています。

お米を食べ始めた弥生時代から始まったといわれていますが、現在のようなおせち料理が正月料理として登場するのは江戸時代と言われています。

年末におせち料理を作り、お正月に家族そろって食べるという風習が現在まで続いています。

また、普段は家事に追われる主婦の方から開放するという意味を含め、保存のきくような料理を中心におせち料理を作るというのも一つの理由だとされています。

おせち料理の食材の持つ意味

重箱に詰められた食材には色々な意味があります。

また、重箱に詰めることは【めでたいことを重ねる】という意味があります。



【一の重】 祝い肴、口取り

- 黒豆：まめに健康に過ごせるように邪気を払い無病息災を願います。
- たたきごぼう：ごぼうは地中深くに根を張るため、家庭や家業が地域に根つき安泰にという願いが込められています。
- 昆布巻：喜ぶの「こぶ」が語呂合わせになっています。喜びが多いようにという願いです。
- 伊達巻：形が巻物に似ていることから、学問の成功を願います。
- 数の子：卵がたくさんあることから子孫繁栄を願います。
- 田作り：いわしを刻んで肥料にした田畑が豊作になったことから、五穀豊穡を願います。
- 紅白かまぼこ：赤は魔除け、白は神聖さを表しています。また日の出の形に似ており、縁起のいいものとされています。
- 栗きんとん：黄金色や金団という漢字から金運を呼ぶ縁起物とされています。
- 錦玉子：黄身と白身を金と銀に例え、その「2色」と「錦」の語呂合わせで縁起を担ぐ。



【二の重】 海の幸を使った焼き物

- 鯛：「めでたい」との語呂合わせで七福神の恵比寿さまが持つ縁起の良い魚としてお祝いの席には欠かせないものとされています。
- 海老：長いひげと腰が曲るまで長生きできるようにと長寿を願います。
- プリ：成長と共に名前が変わる出世魚であることから出世を願います。
- はまぐり：左右の貝がピッタリ合うことから夫婦円満を願う。



【三の重】 山の幸を使った煮物

家族が仲良く結ばれるよう煮しめ（煮物）を詰めます。

- 筑前煮：レンコン：穴があることから将来の見通しがいいという縁起を担いだレンコンや小芋をたくさんつけることから子孫繁栄を願う里芋など。土の中に長く根を張る根菜を多く使い、末永いしあわせを願います。



【与の重】 箸休めになる酢の物など

- 紅白なます：紅白にすることで縁起物の水引を表し、平和や平安を願います。
- 菊花かぶ：菊の花に飾り切りし、菊は邪気を払うとされる不良長寿の象徴とされています。



【五段目】 神様から授かった福を詰める場所

福を詰めるという意味でからにします。または、家族の好物や予備を詰めます。

来年はこの箱に料理を詰める余地がある＝来年はさらに栄えるという願いが込められています。



日本の伝統であるおせち料理はいろんなことが受け継がれています。

毎年恒例となっているおせち料理を一層おいしく召し上がれるよう、意味や由来を理解して頂ければと思います。

今年一年皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

翠の会(糖尿病患者会):フットケア開催

看護副師長：古賀 理恵

令和3年10月に当院にて翠の会の活動で「フットケア」を開催しました。コロナウイルスが流行する以前は年に3～4回程院内での勉強会や柳川市内ウォーキング、食事会、料理教室などを行っていました。しかしながら、しばらくコロナ禍により活動ができない状態にありましたが、やっと少人数での活動が許可され、この度活動を再開することができました。

「フットケア」とは・・・糖尿病で血糖値が高い状態が長く続くと糖尿病の三大合併症のひとつである神経障害や動脈硬化が起こります。神経障害は足の感覚が鈍くなり、痛みを感じにくいいためケガややけどなど足の異常に気づきにくくなり放置してしまいがちになります。また、足や足の指の変形が起こり、タコや靴擦れができやすくなります。そして、動脈硬化は血流障害を起こし、足の血流が悪くなると傷を治すための必要な血液や酸素が行き渡らず、傷が治りにくくなり潰瘍や壊疽(えそ)まで進んでしまうことがあります。また、高血糖の状態は身体の抵抗力を落とすため、細菌感染が起こりやすくなります。潰瘍や壊疽などの重大な病変(糖尿病足病変)から大切な足を守るため、血糖値を良好にコントロールするとともに、自身の日頃の手入れ(フットケア)がカギとなります。

当日は4名の会員さんが来られ、まずは各自自身の足の観察を行いました。タコや靴擦れなどは無いかを確認し、タコや靴擦れは見られませんでした。巻き爪の方がおられました。足の観察後1人1人足浴を行い、その後は巻き爪の対処法や爪の切り方(スクエアカット)の説明を行いました。みなさん、改めて自身の足の観察をし、足のケアの方法を知り、学びになったとの意見が聞かれました。また、久しぶりに会えたことに対しても喜ばれていました。今後も患者さんによりよい生活を送っていただけるよう糖尿病に対しての情報の発信や患者さん同士の親睦が深まるよう楽しい活動を続けていきたいと思っております。次回は2月に活動を予定しています。翠の会に興味がある方はスタッフに声をかけてくださいね!



出張健康講座再開のお知らせ

柳川病院では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い「出張健康講座」を中止しておりましたが、感染予防対策に十分に注意し再開いたします。

地域デイサービスや企業・団体での講話など、出張健康講座のご依頼に対応しております。

1 実施曜日

原則、月曜日～金曜日 ※時間帯はご相談ください。

2 講座内容

「がん予防」「生活習慣病の予防」「認知症の予防」「腰痛膝痛の予防」など、健康維持にお役立ていただける各種内容となっております。ご希望の内容をお伝えください。

(当院の診療都合等によりご希望の内容にお応えできない場合がございます。)

3 その他

- ・調整の都合上、1カ月前までにお申し込みください。
- ・マスク・手指消毒の感染対策の徹底をよろしくお願いいたします。
- ・今後の感染状況に応じて急遽中止させていただく場合がございますが、ご理解ご了承ください。

4 お問い合わせ

柳川病院 医事課 出張健康講座担当 まで



0944-72-6171



2022年1月より、
**循環器内科外来の
担当医が変更**になります。

変更前	野原 夢	火曜
	坂井 智咲子	金曜
変更後	青木 浩樹	火曜
	大地 祐輔	第1、3金曜
	坂井 智咲子	第2、4金曜

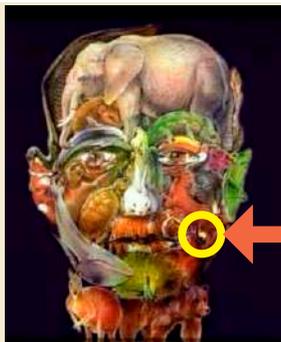
2022年1月より、
土曜日診療変更のお知らせ

2022年1月より、**土曜日の内科外来**
診療体制を一部変更いたします。

担当医 → **担当医（急患のみ）**

※内分泌内科（糖尿病・甲状腺外来）、肝臓外来は変更ございません。

柳川病院 病院長



03 ページ
～頭の体操～

答え

こちらに白いラクダがいます。

拡大図



外来診療担当医一覧表

2022年1月1日現在

受付時間

(日・祭日は休診)

午前 8:30 ~ 11:00
 午後 13:00 ~ 16:00 [血液内科 (木)]
 13:30 ~ 16:00 [脳神経外科 (金)]
 13:30 ~ 15:30 [産婦人科 (水)]

※急患については、この限りではありません。

※都合により診察日・時間に変更になる場合がございます。確認のうえ来院ください。
 ※お問合せの電話については、急ぎの用件を除いては、午後からのお電話にご協力お願い致します。
 ※「担当医」の表記については当該診療科の当番医が診察・診療を行います。

外来担当医表		月	火	水	木	金	土	
内科 消化器内科	午前	新患 再来	於保 和彦 菅 偉哉 大園 太貴	岩尾 直樹 菅 偉哉 大野 美紀	大野 美紀 於保 和彦 大園 太貴	菅 偉哉 岩尾 直樹	大園 太貴 於保 和彦 大野 美紀	担当医 (急患のみ)
	午後				大屋 周期			
血液内科	午後							
肝臓外来 (第2・3土曜日)	午前	(下記※1参照)					佐野 有哉	
ピロリ菌外来 (第1・3月曜日)	午後	(下記※1参照)	於保 和彦					
内分泌代謝内科 甲状腺外来 糖尿病外来	午前	新患・再来		永山 綾子		梶島 正治	廣松 雄治	
	午後	再来(予約)		永山 綾子		梶島 正治		
循環器内科	午前	新患 再来	担当医	担当医 青木 浩樹	担当医 松本 徳昭	担当医 吉岡 励	担当医 大地 祐輔 (第1.3) 坂井 智咲子 (第2.4)	担当医 (急患のみ)
	午後							
心臓血管外科	午前		土井 一義		土井 一義			
外科 消化器外科 肛門外科 乳腺外科	午前	新患・再来	貝原 淳	大地 貴史	貝原 淳	貝原 淳	大地 貴史	担当医
	午後	再来			久田 かほり			
整形外科	午前	新患・再来 新患	野崎 修 末次 宏晃	末次 宏晃 野崎 修	末次 宏晃 野崎 修	野崎 修 末次 宏晃 (第2.4)	野崎 修 (第2.4) 末次 宏晃 (第1.3.5)	
	午後							
産婦人科	午前	新患・再来	大田 俊一郎 嘉村 敏治	大田 俊一郎		大田 俊一郎	大田 俊一郎 嘉村 敏治	担当医(第2)
	午後	新患・再来			寺田 貴武			
皮膚科	午前		辛島 正志	辛島 正志	休診	辛島 正志	辛島 正志	辛島 正志
泌尿器科	午前			渡辺 晃太		植田 浩介		西原 聖顕
脳神経外科	午前	新患・再来	岡本 浩昌	岡本 浩昌	岡本 浩昌	休診	岡本 浩昌	岡本 浩昌 (第2.3.4.5)
	午後	新患・再来					緒方 敦之	
健診センター	午前		喜多 奈穂	喜多 奈穂	岩本 元一	喜多 奈穂	喜多 奈穂	

検査担当医表		月	火	水	木	金	土
放射線科	午後			小金丸 雅道			
専門エコー外来	午後					黒松 亮子	
内視鏡検査	(下記※2参照)	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
		向笠 道太	池原 龍一郎	城野 智毅	渡辺 靖友		

※1 ご希望の場合は、詳しい診療内容をお問合せください。
 ※2 内視鏡検査は原則消化器内科で診察のうえ検査実施となります。
柳川病院(代表) TEL 0944-72-6171
地域医療連携室 TEL 0944-74-8145 / FAX 0944-74-8165

柳川病院 患者会

柳川病院では、病院スタッフ(医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・理学療法士)&柳川病院に通われている患者さんと「翠の会」という患者会を立ち上げています。

～翠(みどり)の会の募集案内～

【会 員】 60～80代の10名程度の方が在籍中
 【活動内容】 勉強会や料理教室、情報交換会、ウォーキング大会等。患者さんが日頃困っていることや悩み事の相談窓口ともなっています。また、会員の方は、月刊「糖尿病ライフさかえ」を毎月無料で読むことができます。
 【年 会 費】 3,600円(年度の途中入会の方…月払いとなります)

糖尿病の患者さん、糖尿病に関心のある人、どなたでも入会することができます。

【参加希望の方】
 柳川病院 翠の会事務局
TEL 0944-72-6171

皆さまのご入会お待ちしております! (森)まで